

令和2年度

教育委員会の事務執行に関する評価  
(令和元年度対象)

令和2年12月15日

みやこ町教育委員会

# 目次

## みやこ町教育委員会の自己点検・評価

I 教育委員会の活動	3
II 教育委員会が管理・執行する事務	6
III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	11
1 学校教育における学習環境の充実	12
2 生涯学習のための環境整備	32
3 図書館の整備・充実	41
4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用	45
5 文化芸術振興活動の推進	54
6 スポーツ・レクリエーションの推進	57
外部評価委員会の所見	68

## 教育委員会の事務執行に関する評価の概要

### 1. 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成20年4月から施行された『地方教育行政の組織および運営に関する法律』の一部改正により、教育委員会は、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理および執行の状況について、自己点検および評価を行い、報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

みやこ町教育委員会では、地域の教育課題や教育ニーズに応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これらに基づいて実施した政策について、その必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価・公表することは、町民に対する説明責任を果たすことにより、町民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していく上で非常に重要なことであると考えております。

このことを踏まえて、令和元年度の教育委員会活動を

- I 「教育委員会の活動」
- II 「教育委員会が管理・執行する事務」
- III 「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

の3点から、教育委員会自らがその進捗状況・達成状況等について、点検・評価を実施し、報告書を作成しました。

## 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

評 価 判 断 基 準

A 達成できた	B おおむね達成できた	C 達成できなかった
---------	-------------	------------

みやこ町教育委員会の自己点検・評価

I 教育委員会の活動

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

評 価 項 目	指 標	評価	点 検 ・ 評 価	外 部 評 価
(1) 教育委員会の会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	A (A)	○ 定例会を11回、臨時会を4回実施した。	適切な運営がなされていると判断する。
	② 教育委員会会議の運営上の工夫	A (A)	○ 教育委員会の会議における案件については、事務局により提案し、学校教育課長、学校教育課長補佐（学校給食センター）及び生涯学習課長が説明し、詳細説明については、それぞれの係長が補足説明を行っている。	
(2) 教育委員会会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	B (B)	○ 傍聴者0名 ホームページに開催日時を掲載し、傍聴を促している。	教育委員会の開催についてホームページに掲載し周知を図るなど、努力が継続的に行われてきた点を評価する。 内容によっては防災無線で案内できないか。

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
	② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況	A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 議事録は、情報公開条例に基づいて公表するようにしている。</li> <li>○ 教育委員会議事録をホームページに掲載し公表している。</li> </ul>	<p>ホームページの他、広報誌を活用できないか。</p> <p>ホームページによる広報は閲覧できる町民が限られているのではないかという指摘も有り、今後も移動委員会の開催や町広報誌等の利用など、情報公開や住民の積極的関与のための工夫を期待する。</p>
(3) 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内で開催された教育委員を対象とした研修会に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県市町村教育委員会女性教育委員研修会 5/15</li> <li>・ 県市町村教育委員会教育委員研修会 11/8</li> </ul> </li> <li>○ 京築地区で開催された教育委員対象の研修会に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京築地区市町教育委員会教育委員研修会 10/25</li> </ul> </li> <li>○ 教育委員を対象にした研修会に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 九州地区市町村教育委員会研修大会 8/1、2</li> </ul> </li> </ul>	<p>各種研修会に参加され、自己研鑽に努められている。</p> <p>新型コロナウイルス感染による臨時休業中や再開後の取り組みについて、必要に応じて町民に報告できないか。</p> <p>具体的な日時が示され、参加状況の信憑性が高まっていること、計画的には評価できる。</p>

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	① 学校訪問	A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 7月1日に犀川小、犀川中、みやこ伊良原学園を訪問した。</li> <li>○ 教育事務所の要請学校訪問が小中連携形式で複数回実施されており、これに併せて教育委員の学校訪問（黒田小、節丸小、みやこ伊良原学園、勝山中）を行った。</li> <li>○ 入学式、卒業式、運動会等学校行事、合唱コンクール、弁論大会に参加した。</li> <li>○ 学校の研究発表会（黒田小、豊津小、祓郷小、犀川中、豊津中、みやこ伊良原学園）に参加した。</li> </ul>	積極的に訪問し、学校の状況把握に努められている。学校訪問で得た学校の良さや課題について、町民の理解や協力を得るため、必要に応じて公開できないか。
(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	② 所管施設の訪問	A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各施設で行われる学校行事、生涯学習課行事、体育協会、育成会の行事に積極的に参加し、施設の状況や活用状況を確認した。</li> </ul>	積極的・定期的に学校等教育施設を訪問し、学校の状況を意欲的に把握する姿勢が評価できる。定期的な学校訪問の在り方を検討する時期にきていると考える。学校の主体性が問われているのであれば、学校長のビジョンや経営システム等を問う学校訪問が必要と考える。

## II 教育委員会が管理・執行する事務

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		A (A)	○ みやこ町教育施策について、審議を行い、策定し、各学校に配布した。	<p>学校だより等を通して、町民の理解・協力を得る。</p> <p>本年度もみやこ町教育施策について審議・策定し各学校に配付し、共有化していることを評価する。</p> <p>今後も教育委員会の考え方及びその政策遂行について、各学校長が作成する学校経営要綱へ具体的に反映し、具現化することを期待したい。そのためにも、定期的な学校訪問だけではなく、教育長との面談や各学校における外部評価の結果公表を継続するとともに、学校運営や組織化のあり方を交流し合う場や機会を設け、よりよい学校教育のあり方を確かなものにするように期待したい。</p>

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(2) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること。		A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこ町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町総合文化センター「ホール・福祉棟」管理運営規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町社会教育指導員規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町地域活動指導員規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町総合文化センター運営委員会規則を廃止する規則の制定について</li> <li>・みやこ町文化財保護委員会規則を廃止する規則について</li> </ul>	<p>教育行政の運営の必要上、あるいは各学校及び地域の教育現実等への対応の必要から、適切に諸規則の改正等を行っている」と判断する。</p>

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町B &amp; G海洋センター管理規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町B &amp; G海洋センター利用規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町スクールバス運行規則の全部改正について</li> <li>・みやこ町学校給食事業基金条例施行規則の制定について</li> <li>・みやこ町立学校の町雇用非常勤講師の任用等に関する規則を廃止する規則の制定について</li> <li>・みやこ町教育支援委員会規則を廃止する規則の制定について</li> </ul>	
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		A (A)	○ 教育委員会に新年度の主要な予算について報告。	
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること		/	○ 該当なし。	
(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること		A (A)	○ 管理職人事、人事異動に係る内申を行った。	

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(6) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事		A (A)	<p>○ 職務の遂行が期待できる適任者の選定に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校評議員</li> <li>・ 外部評価委員</li> <li>・ 学校医</li> <li>・ 学校歯科医</li> <li>・ 学校薬剤師</li> <li>・ 学校 I C T 教育推進委員</li> <li>・ みやこ町通学路安全対策推進協議会委員</li> <li>・ みやこ町学校給食センター運営委員</li> <li>・ みやこ町学校給食物資選定委員</li> <li>・ みやこ町学校給食献立委員</li> <li>・ みやこ町社会教育委員</li> <li>・ みやこ町公民館運営審議会委員</li> <li>・ みやこ町歴史民俗博物館運営委員</li> <li>・ みやこ町歴史民俗博物館専門委員</li> <li>・ みやこ町文化財保護委員</li> <li>・ みやこ町スポーツ推進委員</li> <li>・ みやこ町スポーツ推進審議会委員</li> </ul>	<p>学校と地域を結ぶ人材（コーディネーター）の発掘と育成が望まれる。  適任者の選定がなされていると判断する。  今後も、町内の人材情報の収集を心がけ、経験豊富な人材を任命するよう心がけてもらいたい。</p>

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこ町図書館協議会委員</li> <li>・みやこ町子ども読書活動推進協議会委員</li> </ul>	
(7) 教科用図書の採択の決定に関すること		A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和2年度小学校教科用図書について採択した。</li> <li>○ 令和2年度中学校教科用図書について採択した。</li> <li>○ 令和2年度小学校の一部特別支援学級で使用する教科用図書について採択した。</li> <li>○ 令和2年度中学校の一部特別支援学級で使用する教科用図書について採択した。 (2回)</li> </ul>	デジタル教科書の導入に向けての準備が必要。
(8) 通学区域を設定し、又は変更すること		A	○ 犀川地区4小学校の再編に伴い、柳瀬小学校、上高屋小学校、城井小学校に指定された校区を新設した犀川小学校の校区へ変更した。	再編に伴う教育委員会の役割を明確にして、今後も適切に行っていくことを期待したい。
(9) 文化財を指定し、又は指定を解除すること			○ 該当なし。	
(10) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること			○ 該当なし。	

### Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

子どもたちが、ふるさとで学び、育ちそして大人になった時ふるさと・みやこ町への愛着と誇りとともに、平和を愛する気持ちを持ち続けることが大切だと考えます。

そのため、生命を大切に作る心を育てる教育の推進、「みやこ」ならではの文化を活かした活動や、学力の充実・向上、家庭の子育て支援などにより、次世代を担う子供を育てていきます。

また、生涯学習の推進に当たっては、住民一人ひとりのさまざまなニーズに応じて、住民が主体的に、“いつでも・どこでも・だれでも・なんでも”学ぶことができる学習の場づくりや情報提供を行います。

さらに、地域に伝わる歴史や伝統文化を継承し、活用するとともに、住民の主体的な文化・芸術活動を支援し、文化の薫り高いまちづくりに努めます。

※ 評価項目は、「みやこ町第2次総合計画」の基本計画に示された主要事業及び教育委員会で策定した「平成29年度みやこ町教育施策リーフレット」の主要事業をもとに作成しています。

有 効 性	効 率 性	達 成 度	総 合 評 価
事業が目標達成に有効であるかを評価する。	事業が効率的に実施できたかを評価する。	計画通り達成しているかを評価する。	3つの評価項目を勘案し、総合的に評価を行う。
<b>評 価 判 断 基 準</b>			
A 有効である	A 実施できている	A 期待を上回る	A 達成できた
B おおむね有効である	B おおむね実施できている	B おおむね期待どおり	B おおむね達成できた
C あまり有効でない	C 実施できていない	C 期待を下回る	C 達成できなかった

## 1 学校教育における学習環境の充実

### ○施策の方針

「自分のよさに気付き、なりたい自分を見つけ、志を持って成長していく子ども」を育てるため、小中連携教育を推進し、国際理解教育の一環として英語教育の充実に努め、今後の複雑化・多様化する教育的ニーズにこたえる教育環境の充実に努めるとともに、学校施設の再編整備・充実、チームとしての学校体制の整備に努めます。また、子どもの成長を見守る環境を作り、子どもの安全確保に努めます。学校給食については、関係機関との連携の下、地場農産物の利用を進め、子どもの健康を守る取組を推進します。

### 主要施策 ①子どもの教育環境の充実

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
チームとしての学校づくり	心理や福祉など多様な専門家の配置の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町雇用でスクールソーシャルワーカーを雇用（週1日）し、必要な学校の児童・生徒、保護者の対応を行った。</li> <li>○ 教育相談員1名を配置し、毎日学校を巡回指導し、指導に関する助言を行うとともに関係機関との連携を行った。</li> <li>○ スクールアドバイザーを町予算で確保し、学級担任と連携して児童・生徒・保護者等の教育相談に活用した。</li> <li>○ 合理的配慮配慮協力員2名を町予算で雇用し、各小中学校の通級指導教室で学級担任と連携して児童・生徒の指導を行った。</li> <li>○ 特別に支援を要する児童生徒に対する合理的配慮を行うため、発達検査を実施した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様化した児童・生徒への対応が出来ており、今後も継続して行きたい。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	教育課題の解決のため、多様な専門家を配置され、子に応じた指導が行われていることは評価できる。今後も継続と充実をお願いしたい。 町雇用の配置によって、効果が上がっていることは評価できる。 効果が上がっているエビデンスとして数値化するとともに、今後も関係機関と連携しながら引き続き実施できるように予算の確保をお願いしたい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行橋市適応指導教室と連携を図り、不登校生徒3名の支援を行った。</li> <li>○ みやこ町要保護児童対策地域協議会での情報交換の会議に、年間5回担当指導主事・教育相談員・SSWが参加し連携が充実した。</li> <li>○ 京築児童相談所や行橋警察署、京築保健福祉環境事務所家庭児童相談員等との連携が充実した。</li> <li>○ 特別支援学校・みやこ町療育施設、社会福祉協議会等との連携を図った。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関との連携は充実してきている。学校のみで解決困難な事案は多くあり、今後も継続した連携の強化が必要である。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	今後も関係機関との連携・強化を期待する。学校任せではなく、本教育委員会のイニシアチブによるビジョンやシステムの確立と推進を期待したい。
	家庭・地域との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭向けリーフレット「STOPスマホ」を全保護者へ配付し、スマホの使用について家庭でのルール作りの啓発、家庭と連携して、「Noテレビ・Noゲーム」「STOPスマホ」を各中学校区で実施し、生活習慣や学習習慣の確立を図った。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各中学校区として取組が定着しており、小学校から中学校間の連続した取組として今後も継続し、家庭との連携をさらに進める必要がある。</li> </ul>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	PTA連合会と連携して、取り組みの拡大を進めてはどうか。効率性や達成度を高めるためにも、みやこ町PTA連合会や関係機関・組織との連携を強化した取組の具体化・具現化が求められる。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
9年間を見通した教育の充実	小中連携教育の推進	<p>○ H26年度からH28年度「小中一貫教育指定校事業」、H29年度から「小中連携教育指定校事業」に移行し、町内3地区小中学校及び小学校間の共通した取組が定着した。</p> <p><b>【共通した取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教職員合同研修会</li> <li>・小中学生合同地域清掃活動</li> <li>・中学文化祭の小中合同合唱</li> <li>・小学校へ中学教師出前授業</li> <li>・小学校間の学習・生徒指導の共通した取組</li> <li>・授業規律の共通した取組</li> <li>・生徒指導の共通した取組</li> </ul> <p>○ 町内3中学校区の取組として、各校区の主体的な取り組みを図っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 町内3地区の取組の状況や内容に違いがみられる。今後さらに校区別の主体的な取組の充実を促したい。</p>	A (A)	B (A)	B (B)	B (A)	<p>小中連携教育の推進が積極的に行われていることを評価したい。</p> <p>出前授業や小中共通した取り組みは、今後も続けてほしい。</p> <p>重要な施策であり、計画的に進められていることや共通した多様な取組を実施していることは評価できる。</p> <p>今後は取組の特色化を図っていく視点からも、効果が上がっている取組の広報や実践的な交流会の開催等を実施し、各校区の主体的な取組を促進していただきたい。</p>
	基礎学力向上に向けた教育活動の充実	<p>○ 福岡県学力アップ推進事業との連携を図り、みやこ町学力検証委員会の活性化を図った。</p> <p>○ 陰山メソッドを導入し、基礎基本の定着と集中力の育成を行った。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	<p>継続的取り組みが行われていることを評価したい。</p> <p>若年教師が増加し、ベテラン教師の減少の中、指導力向上のための研修は継続してほしい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みやこ町予算で小学校1年生から6年生に算数ドリル「さんすうまるごとスキル」を配布し、学力向上ドリル事業を実施した。</li> <li>○ 教員の指導力向上を図る目的で、みやこ町教育委員会主催研修会を実施した。</li> <li>○ 児童生徒に対するきめ細かな指導を実施するため、以下のようなみやこ町雇用教員の配置を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 35人学級実施のための常勤講師 (小学校1名、中学校2名)</li> <li>・ 35人学級実施のための非常勤講師 (小学校2名)</li> <li>・ 複式学級対応のための非常勤講師 (小学校7名)</li> <li>・ 中学校の学習支援に係る非常勤講師 (10名) 勝山中3名で週23時間 豊津中4名で週36時間 犀川中3名で週36時間</li> <li>・ 児童支援対応及び児童学習指導 (小学校1名)</li> <li>・ 特別支援学級における学習指導 (小学校1名)</li> </ul> </li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭との連携の充実を図った家庭学習の定着を図る。</li> <li>○ 町雇用講師の確保</li> </ul>					<p>確実に成果が上がっており、継続的・効果的な人的配置とともに、みやこ町学力検証委員会を中心に継続した事業の展開を期待したい。</p> <p>きめ細やかな指導を実施するため、町雇用教員を多く配置していることを評価したい。いずれも基礎学力向上のために指導者の指導力向上の研修がなされてことは評価する。今後も継続してほしい。町雇用教員の質の確保と専門性を高める上から、みやこ町教育委員会主催研修会の実施や他機関での研修会等への意図的・計画的な応募や参加を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	心の教育や体力向上の取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を各学校に情報を提供した。</li> <li>○ 年間を通じた体力向上の年間を通じた取組「1校1取組」を全小中学校で実施している。</li> <li>○ 福岡県スポーツコンテスト「スポコン広場」みんなでダンスへ中学校1校2チームが参加し、それぞれ優秀賞と優良賞を受賞した。 チャレンジランキング大会では「みんなでドッジボールラリー」で低学年7位中学年8位と2校が入賞した。</li> <li>○ 教育活動全体で行う道徳教育を推進するため「別葉」を作成した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力向上では、通年の取組「1校1取組」の運動を全小中学校で実施している。「スポコン広場」での成果が限定されているので、各学校への成果の紹介等を通して参加校を広げる必要がある。</li> <li>○ みやこ町若年教員研修で道徳の授業の改善に取り組む。</li> </ul>	A (A)	A (B)	B (A)	A (A)	<p>参加のばらつきはあるが、確実に成果が上がっていると判断する。</p> <p>今後は、道徳教育の充実のためにも、保護者や地域へ道徳授業の公開等を行い、道徳への関心と理解を高めていくことを期待したい。</p> <p>10代のスポーツテストの結果では、50数年前と比べて、体格は向上しているが、体力は低くなっているといわれている。体力向上のために、1校1取組やスポコン広場の継続を期待する。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
時代を担う人材育成のための教育の充実	国際理解教育・英語教育の推進	<p>○ これからの英語教育の流れは英語4技能化が本流になる。本年度から小学5年生から中学2年生までを対象とし、英語4技能検定「GTEC」を実施した。（この成果は、教育委員会と学校が、「GTEC」検定の結果分析を踏まえた英語科の授業改善を共通理解し、取り組むことができたことである。</p> <p>○ 外国語指導助手（ALT）を小中学校に派遣した。特に中学校では、英語4技能化のための学習指導の支援を行った。 派遣人数：小学校2名、中学校1名 派遣時数：小学校1, 225時間 中学校640時間</p> <p>○ 中学生の英語力向上のためにみやこ町中学生スピーチ大会を開催した。 （課題部門15名、自作部門7名） 本大会で優秀賞となった4名の生徒は京築大会に出場した。そのうち1名は入賞し、京築代表として県大会に出場した。</p> <p>○ 中学3年生対象の悉皆調査「福岡県中学生英検I B Aテスト」の結果、みやこ町全体の平均スコアは668.2ポイントで県・京築と比べても低い。 （県：714.8 京築：703.0）</p>	A (A)	A (A)	B (A)	A (A)	<p>英語4技能検定を実施し、英語教育に積極的に取り組んでいることを評価したい。 GTECの実施やALTの確保と積極的な派遣及びスピーチ大会などの表現する機会や場の確保は、今後も継続していただきたい。</p> <p>中学校における英語科学習担当教員の英語力の現状を把握するとともに、県小学校外国語専科配置制度の活用や授業改善による中学校英語教員の指導力向上を図り、児童生徒の英語活動や会話力の高まりを期待したい。</p> <p>英検I B Aテストの結果の分析と授業改善に期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>英検 3 級以上を取得している生徒の割合も 29.2%と低い。 (県:39.0%、京築:35.5%)</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ テスト結果を分析し授業改善を促進し生徒の英語力の向上を図る。</p>					
	キャリア教育の推進	<p>○ 小・中学校のキャリア形成を図る活動の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校全校で職場体験学習の実施</li> <li>・ 小学校では、職場体験的学習の実施</li> </ul> <p>○ 小・中学校でキャリアパスポートを活用し、児童生徒の個性を伸長する教育の充実を図った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 各学校で計画的な実施がなされているが、取組内容が限定されおり、活性化を図る必要がある。</p>	B (B)	B (B)	B (B)	B (B)	<p>キャリア教育やキャリア形成が職場体験だけになっている現状がある。</p> <p>キャリアパスポートを活用した全教育活動の中でキャリア教育やキャリア形成を具体化・具現化することを期待したい。</p>
	郷土を愛する心を育てる教育の充実	<p>○ 地域との連携による「地域のよさ」の発見を目的とした学習の実施が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全小学校高学年による議会傍聴の実施。</li> <li>・ 歴史民俗博物館、みやこ町文化遺産、史跡見学の実施。</li> <li>・ 「特別の教科 道徳」の実施により、郷土の伝統と文化を大切にする心の教育に充実を図る。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	<p>各校区の特色ある取組が実践されている。</p> <p>さらなる充実のためにも、本教育委員会が主体となって文化遺産や郷土の偉人を教材化した資料作成を行い、道徳教育の充実と郷土愛の向上を図っていくことを期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間で各校区ごとに地域の産業や先人を取り上げ、郷土への愛着を深める教育を行っている。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各校区の特色を学ぶ学習が創意工夫されている。今後さらに、道德教育との関連も図りながら「郷土を愛する心」の指導の充実を図る必要がある。</li> </ul>					
多様な教育ニーズにこたえる教育の推進	特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の実態や状況に応じた特別支援学級の設置による特別支援教育の充実を図っている。</li> <li>通常の学級に在籍する特別に支援を要する児童生徒の指導に向けた「通級による指導」を実施している。</li> <li>通級による指導の充実を図るため、合理的配慮協力員2名を配置した。</li> <li>適正就学に向けたきめ細かな教育相談を実施している。</li> <li>築城特別支援学校と連携した「障がいのある児童生徒の居住地校交流」を実施した。</li> <li>みやこ町特別支援教育研修会を年2回実施した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある児童生徒の合理的配慮は今後さらに充実を図る必要がある。</li> </ul>	A (A)	A (B)	B (A)	A (A)	<p>適切な人的配置が計画的・継続的に行われていることを評価したいし、今後も充実・継続できるようにしていただきたい。</p> <p>特別支援教育は、さらに個に応じたきめ細やかな指導が必要となる。指導教員の増員と専門性が求められている。さらに充実することを期待したい。</p> <p>就学前からの指導の引き継ぎを図るためにも、福祉課や子育て支援課等の他部署や幼稚園・保育所等との連携が必要であるため、その連携のシステムを強化していただきたい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ 児童生徒の教育相談の充実と、家庭・学校が情報共有を図るシステムづくりが必要である。					
	不登校児童・生徒への支援の充実	<p>○ 行橋市適応指導教室への入室により、中学校の不登校生徒3名の支援を行った。</p> <p>○ 町雇用のスクールソーシャルワーカーやスクールアドバイザー、県雇用のスクールカウンセラーを小中学校の別なく児童・生徒・保護者等の教育相談に活用した。</p> <p>○ 不登校の児童生徒数や状況を把握し、情報を学校に伝えることで、学校に注意を喚起し、「マンツーマン対応」や「福岡アクション3」の充実した実施を促した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係機関及び医療機関との連携が進んでいる。</p> <p>○ 長期欠席及び不登校の児童生徒数がH30年度頃より増加しており対応等の充実を図る必要がある。</p> <p>○ 小学校段階では、長期欠席者19名中、病気・その他の理由での欠席者が12名であり、中学校の不登校（25名）につながる傾向が見られる。</p>	B (A)	B (B)	B (B)	B (B)	<p>小・中学校時代の不登校の延長が、成人の引きこもりの要因となりうるので、小学校の早い段階からの対応が望まれる。</p> <p>SSW、SCなどの配置は、今後も継続し、教育相談の充実を願う。</p> <p>SSWやSCの配置が計画的に実施され、その効果も徐々に上がっていることを評価したい。</p> <p>不登校児童の児童・生徒とオンラインでつなぐことができないか。</p> <p>今後は校内適応指導教室の設置を計画的に実施するなど、小学校段階からの早期の対応を期待したい。</p> <p>また、不登校児童・生徒を生まない各学校の取組やシステムの共有化を図っていただきたい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
安全、安心な給食の配食	衛生管理の徹底と安全、安心な給食の配食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調理員を対象にした衛生研修会を年3回実施した。</li> <li>○ 配膳業務担当者を対象に衛生研修会を4月に実施した。</li> <li>○ 作業マニュアルに沿った作業を行い、随時見直しをすることで、衛生管理の徹底と調理技術の向上を図っている。</li> <li>○ 町内の全小中学校に、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べられるように二重食缶を使用して配食した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も衛生面に注意し、おいしい学校給食を提供していく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	コロナと向き合い、安全安心でおいしい給食を今後も提供してほしい。 確実な実施と安全への配慮を評価する。
	地場産農産物の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地場産農作物の利用促進を図るために関係機関との連携を深め、学校給食小委員会で毎月会議を開催し「生育状況」や「出荷時期」の情報交換を行い「みやこ町産野菜」の使用に努めた。</li> <li>○ 毎月19日は「食育の日」にちなみ、地場産野菜・果物を取り入れた学校給食を配食するとともに、献立表にも地場産野菜を紹介し保護者に啓発を行っている。また、毎日、給食の写真とその日の地場産物をフェイスブックで紹介している。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も地場産農産物の使用を推進していく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	現状把握を的確に行い、意図的・計画的な利用推進を行っていることや地場産食材を利用した給食の様子を定例化した日に配信・紹介していることを評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	食育の推進	<p>○ 2校の児童に対して、学校給食センターでの調理作業の見学会を実施した。また、調理現場を見ながら説明を行う事で食育の推進に努めた。</p> <p>○ 「給食カレンダー」を毎週発行し、毎日の献立内容について知らせたいポイントを掲載することで食育の推進が図れた。</p> <p>○ みやこ町の全小学校に対し、栄養教諭が学校訪問を行い、「バランスのよい食べ方」をテーマに食べ物は大切な働きがあり、嫌いな物も工夫して食べるように意識付けを行った。</p> <p>○ H30年9月作成の「学校給食交流試食会実施要領」により学校へ希望を募り、保護者の方に栄養教諭が給食の説明や試食体験をしてもらうことで学校給食に対する理解（学校給食の意義や食の大切さ）を深めた。</p> <p>(実施校)  R元. 6. 1 3 黒田小学校  R元. 1 0. 2 5 豊津小学校</p> <p>○ 小・中学校長代表、小・中学校のPTA代表、小・中学校給食担当教諭、学校給食センター職員で構成する献立委員会を10回開催し、「旬の食材を使った献立」、「各県の郷土料理」、「各国の料理」を説明することで連携した取組ができた。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>栄養教諭の学校訪問は、食育に効果があると思われる。栄養教諭による日常的な指導を充実するためにも、新小学校への確実な栄養教諭の人的配置をお願いしたい。</p> <p>学校給食交流試食会は、保護者の学校給食理解に有効であると考えます。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 小学校に入学する新1年生の保護者に「学校給食について」（学校給食の目標、栄養管理、使用食材等）の便りを配付し家庭へ周知ができた。</p> <p>○ H25年6月から毎日の給食内容をフェイスブックに投稿し、保護者に子供がどんな給食を食べているか確認できるようにしている。保護者から、「美味しい給食ありがとうございます。」「今日は喜んで食べる事でしょう」「今日は苦手な物に苦戦しているでしょう」などのコメントが寄せられた。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後も栄養教諭による学校訪問を計画的に実施するとともに、給食の内容等が適切であるか検討していく。</p>					

主要施策 ②子どもの健康を守る取組の推進

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
食物アレルギーをもつ児童生徒への適切な対応	食物アレルギー対応	<p>○ 「みやこ町食物アレルギー対応マニュアル」を活用して、食物アレルギーをもつ児童生徒が、「安心・安全」な学校生活を送ることができるように努めた。</p> <p>○ 学校との情報交換会を12月6日に開催し、食物アレルギーをもつ児童生徒の状況等について情報を共有し、学校と連携することで食物アレルギー事故の防止に努めた。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 食物アレルギーをもつ児童生徒へ適切な対応が図られるように、さらに学校との連携や情報の共有を図っていく必要がある。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	保護者や関係機関との連携を図りながら、就学前の対象児童の把握と対応が図られていることを評価したい。

主要施策 ③学校施設の整備・充実

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進		<p>○ 犀川地区統合小学校校舎の建設工事が完了し、令和2年4月に開校した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外構工事の着手。</li> <li>・旧校舎解体工事の着手。</li> <li>・4小学校の閉校に向けての取組み、新小学校の開校に向けての取組みを実施。</li> </ul> <p>○ 豊津地区統合校建設事業を着手し、令和6年4月開校をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計の実施。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 犀川小学校の旧校舎解体工事、外構工事を完了し、豊津地区のプール解体工事、外構工事、造成工事に着手する。また、勝山地区及び中学校3校の再編整備事業を検討し、統廃合を推進する。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	<p>地域全体で子どもたちの成長を支えるためには、保護者や地域の理解が必要。学校再編の理念を周知する必要はないか。</p> <p>常に新しい情報を提供していく中で、新小学校の整備計画や開校理念を保護者や地域に周知し、継続的に理解を図っていくことを期待したい。</p> <p>開校した小学校の様子を積極的に紹介・配信することで、統合のよさを理解する機会としていただきたい。</p>
ICT教育推進のため電子黒板等の機器の整備の推進		<p>○ デジタル教科書活用研究指定事業（小学校）及び電子黒板活用研究指定事業（中学校）を実施し、電子黒板、タブレット等の機器を貸与して、ICT機器を活用した授業に取り組んでいる。</p> <p>（小学校41人、中学校10人）</p> <p>○ デジタル教科書や電子黒板を活用した公開授業を、新規貸与者が年間1回行った。</p> <p>（小学校16人、中学校5人）</p> <p>○ ICT機器の活用充実のため、ICT支援員による教員への直接指導を実施した。</p>	A (A)	A (A)	B (A)	A (A)	<p>新型コロナウイルスの流行に伴い、さらに求められている。さらなる機器の整備と活用充実を期待したい。</p> <p>ギガスクール構想に則り、ハード面と共にソフト面の教材教具の充実を図り、ICT活用の情報を教員に提供することを期待したい。</p>
	※ICT…情報処理及び情報通信、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称のこと。						

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ みやこ町の事業として、機器の貸与や公開事業、研修会の実施により、ICTを活用した授業は充実してきている。今後、事業の充実と授業のレベル向上を図りたい。</li> </ul>					
特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援学級及び通級による指導に対して、障害の状況に応じた教材・教具の配置を行った。</li> <li>○ 巡回による通級指導に係る町雇用「合理的配慮協力員」を2名配置した。</li> <li>○ 新1年生の適正就学に向けて、新1年生及び保護者を対象とした就学相談を実施した。(相談者18名)</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成29年度より開始した中学校の巡回による通級指導の充実を図る。</li> <li>○ 教育環境を充実させるために、教室の整備に取り組む。</li> </ul>	A (A)	A (B)	B (B)	A (A)	<p>今後も教育ニーズに応じた教育活動が実施できるように、環境整備の継続・充実を期待したい。</p> <p>巡回による通級指導に係る町雇用「合理的配慮協力員」の配置など通級指導教室の環境整備が進んでいることを評価する。</p> <p>教育的ニーズに応じた教育活動が実施できるように、確実な環境整備の継続を期待したい。</p> <p>併せてICTを活用・利用した巡回訪問・観察のあり方等の開発を行ってみたいかどうか。</p>

主要施策 ④児童・生徒の安全確保

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
通学路の安全確保		<p>○ 小・中学校から通学路における危険箇所対策一覧表を提出していただき、「みやこ町通学路安全推進協議会」において協議を行った。 R1年度協議件数 0件（要望無し） R1年度実施件数 13件（昨年度要望分）</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係機関との連携強化を図りながら、今後も継続して危険箇所の改良に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	P T Aや地域との連携強化が行われ、安全確保に努力していることが評価できる。
安全見守り活動の充実		<p>○ スクールガードリーダーを各地区（旧町単位）1名の計3名を配置し、登下校時における児童・生徒の安全確保に努めた。また、不審者情報等あった場合は、スクールガードリーダーに連絡し、注意をしながら見守りを行うよう徹底させた。 ・子ども110番の家登録数 397件 ・安全見守り隊登録数 75件</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ スクールガードリーダーがより役割を果たせるように関係機関との連携強化を図る。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	着実に実施されていることを評価する。 さらなる安全性の確保の視点から、スクールガードリーダーによる情報交換会や研修会等による情報の共有・促進を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価																				
			有効性	効率性	達成度	総合評価																					
スクールバスの適切な活用		<p>○ 事務の効率化や関係機関との連携を密にし、安全でスムーズなスクールバスの運行を行うとともに通学区の見直しも検討した。</p> <p>○ ・R 1年度スクールバス利用者数</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>犀川小学校</td><td>32名</td></tr> <tr><td>柳瀬小学校</td><td>5名</td></tr> <tr><td>のびのび幼稚園</td><td>6名</td></tr> <tr><td>犀川中学校</td><td>1名</td></tr> <tr><td>伊良原小・中学校</td><td>29名</td></tr> <tr><td>計</td><td>73名</td></tr> </table> <p>○ ・部活動の利用状況</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>勝山中学校</td><td>103件</td></tr> <tr><td>豊津中学校</td><td>113件</td></tr> <tr><td>犀川中学校</td><td>61件</td></tr> <tr><td>計</td><td>277件</td></tr> </table> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 豊津地区の学校再編に向けて、通学手段を確保し、安心安全に通学するためにスクールバスの運行の検討を行う。</p>	犀川小学校	32名	柳瀬小学校	5名	のびのび幼稚園	6名	犀川中学校	1名	伊良原小・中学校	29名	計	73名	勝山中学校	103件	豊津中学校	113件	犀川中学校	61件	計	277件	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	<p>安心・安全なスクールバスの活用を期待する。</p> <p>スクールバス利用は、優れた活用例である。生徒の安全面や教師の負担軽減に極めて有効である。今後も利活用の拡充を期待したい。</p>
犀川小学校	32名																										
柳瀬小学校	5名																										
のびのび幼稚園	6名																										
犀川中学校	1名																										
伊良原小・中学校	29名																										
計	73名																										
勝山中学校	103件																										
豊津中学校	113件																										
犀川中学校	61件																										
計	277件																										

主要施策 ⑤家庭教育力の向上

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組		<p>○ 家庭教育力の向上を図るため、家庭教育支援総合推進事業により、保護者等を対象とした講演会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊津小学校：参加者 148名</li> <li>・祓郷小学校：参加者 32名</li> </ul> <p>○ 子ども体験教室を7教室開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめてのプログラミング（年3回開催） 参加者：31名（子）</li> <li>・ボッチャ、インディアカ体験 参加者：9名（子）</li> <li>・親子木工教室「ミニチェアを作ろう」 参加者：20名（親・子）</li> <li>・アロマのお話とアロマワックスバーづくり体験 参加者：9名（子）</li> <li>・クッキー&amp;パンづくり 参加者：22名（親・子）</li> <li>・エコクラフトでアニマルかごづくり 参加者：18名（親・子）</li> <li>・古代体験教室 参加者：12名（子）</li> </ul> <p>○ 凧づくり体験教室 豊前国府跡公園にて開催し、町内外から子ども・保護者併せて約130名の参加があった。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	<p>保護者を対象とした講演会をすべての学校で、計画的に実施できないか。 子ども体験教室の継続と充実を期待する。 親子で体験できる多様な活動が開催されたことを評価したい。 更に、家庭教育支援総合事業を全町に広げ、計画的に推進していくことを期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 親子星空観望会 親子で天体に興味を持たせるために星空観望会を3回実施し、うち1回はピアノ演奏による音楽会を併せて実施した。子ども・保護者併せて113名の参加があった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 家庭教育支援総合推進事業については、保護者の家庭教育力の向上に一定の効果があり、今後も継続していきたい。</p> <p>○ 親子での体験活動は、親子の絆を深めるのに一定の効果があり、今後も内容等を精査し継続していきたい。</p>					
保護者と連携した学力の向上、規範意識の向上		<p>○ 「ストップ・スマホ」のリーフレットを作成し、保護者へ配布した。</p> <p>○ 各学校で学校便りを配布し、生活習慣や規範意識の向上に向けた情報提供を行うよう指導した。</p> <p>○ 「ノーテレビ・ノーゲーム」「ストップ・スマホ」など、家庭での指導が行いやすいように具体的な取組を行い、各学校の状況を確認した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 実践内容の周知が図られており、保護者の主体的な取り組みに移行する必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>P T A組織との連携した取り組みによって、全校へ広められないか。</p> <p>「ノーテレビ・ノーゲーム」「ストップ・スマホ」など家庭での指導が行いやすいような取組を展開し、確実に成果が上がっていると評価する。保護者が主体者であり、学校は支援者であるという関係をつくる上からも、みやこ町P T A連合会や各関係機関との連携・実践を図りながら、更なる活動の充実を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
発達段階に合わせた連携・教育の推進		<p>○ 療育教室（たんぼぼ教室）の療育指導者から新就学児童の就学先学校訪問により、就学後のフォローアップを行っていただき継続的な支援・連携を図った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係機関と情報の共有を図りながら、連携をより強化して、適正な就学ができるように努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	就学前からの指導の引き継ぎを図るためにも、福祉課や子育て支援課等の他部署や幼稚園・保育所等との連携システムを強化していただきたい。

## 2 生涯学習のための環境整備

### ○施策の方針

「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」学ぶことができる学習機会を提供するため、公民館活動の充実を図るとともに、社会教育委員会議や公民館運営審議会で、本町の生涯学習の在り方について協議します。また、生涯学習活動の充実のため、広報誌等を通じた生涯学習情報提供の充実を図るとともに、各地域の優れた技術や経験を持った人材活用や、社会教育団体などの活動を支援します。

### 主要施策 ①「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」 学ぶことができる学習機会の提供

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
ライフステージに応じた学習機会の提供		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者大学を次の5地区で開催した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山たちばな大学 年9回開催、申込者50名 対前年度10名減</li> <li>・犀川地区ふれあい大学 年8回開催、申込者104名 対前年度4名減</li> <li>・城井地区さわやか大学 年8回開催、申込者58名 対前年度増減なし</li> <li>・伊良原地区ふれあい大学 年7回開催、申込者55名 対前年度5名減</li> <li>・豊津平成学級 年9回開催、申込者41名 対前年度11名減</li> </ul> </li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>高齢者の生きがい対策として魅力ある学級運営の継続を望む。</p> <p>事業の継続を望む。「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」学ぶことができるこの事業のさらなる魅力向上を期待したい。</p> <p>学校の統合が進む中、学校施設を活用した講座内容の開発と運営を模索することが必要と考える。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 女性学級を次の3地区で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勝山女性学級 年9回開催、申込者35名 対前年度6名減</li> <li>・ 犀川女性学級 年9回開催、申込者63名 対前年度8名減</li> <li>・ 豊津女性学級 年9回開催、申込者35名 対前年度16名減</li> </ul> <p>○ ふれあいスポーツ教室を開催した。 年10回開催、延べ参加者177名 対前年度1名減</p> <p>※ コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月開催分は全て中止とした。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 高齢者大学や女性学級の合同開講式・合同閉講式等については、1カ所開催により参加者の減少傾向が見受けられるため開催場所等について引き続き検討していく。</p> <p>また、申込者数も年々減少傾向にあるため、今後は統合等も視野に入れて検討していく必要がある。</p> <p>今後も、社会教育指導員や地域活動指導員を中心に講座内容の充実を図り、多くの方が参加したくなるような、魅力のある学級運営に努める。</p>					

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
自己啓発のためのバランスのとれた各種講座教室の提供		<p>○ 文化健康講座を開催した。 5月～翌年2月 24講座を開催、 登録者数432名 対前年度20名減</p> <p>○ パソコン講座を開催した。 10講座：前期6講座、後期4講座 延べ登録者数61名 対前年度8名減 平成27年度より実施しているパソコン講座 受講者相談会を1地区で実施した。 直接講師と相談し、受講者ニーズにあった講座 選択に寄与している。</p> <p>○ 外国語講座を開催した。 ・英語講座 9月～翌年2月 年20回 参加者17名 ・韓国語講座 8月～翌年1月 年20回 参加者16名 ・ベトナム語講座 8月～11月 年10回 参加者18名</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、社会教育指導員や地域活動指導員 を中心に町民のニーズに合った講座内容の充 実を図り、魅力のある講座の開催に努める。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	文化健康講座を他の課と連携し、ニーズに応じて各地区の施設で開催するように広げていただきたい。 社会状況の変化に対応した講座内容の開発と継続を期待する。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画		<p>○ 公民館まつりを開催した。子どもも大人も楽しめる内容とした。 参加者 総 数：215名 対前年度30名増 児 童：60名(対前年度5名減) 一般他：155名</p> <p>吹奏楽部演奏、健康ダンス、ハンドメイド、段ボール工作、パステルアート、科学工作、科学教室、幼児の絵画作品展示などを実施した。 地域住民、大学、企業に講師を依頼するなど連携して開催することができた。</p> <p>《課題・今後の方向性》 他のイベントや学校運動会開催時期を避け10月に実施したことで、参加者数が増加となった。しかしながら午後の部については参加者が減少傾向にあるため、引き続き開催時間や内容について協議をし、事業の充実に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	学校教育との関連や開催時期の考慮による工夫を今後も継続する。
人権教育の推進		<p>○ みやこ町人権教育研究会事業として、若手教員を中心にリアリティのある全体研修会を実施し、同和問題の現実について認識を深めることができた。</p> <p>○ 町内の全小中学校から、NPO法人主催の人権文化フェスティバルへ参加した。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	定期的な町内での研修会や県・関係機関(団体)との連携を図った研修会等の実施を評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 人権男女共同参画室と連携し、人権啓発チラシ「人権だより」や人権啓発冊子「おおぞら」を発行し、全戸に配布した。また、町民の人権意識の向上を図るため、7月の福岡県同和問題啓発強調月間では街頭啓発及び人権啓発講演会、9月には隣保館まつりを実施すると共に、12月には人権のつどいを開催し、人権作品の表彰や講演会等を実施した。</p> <p>○ 女性学級や高齢者大学では引き続き、身近な人権課題等をテーマにした講座を開催した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後も全体研修会を実施し、教職員の経験年数等に応じた人権教育の推進に努める。</p> <p>○ 人権教育研究会会員に対し、NPO法人等主催の研修会等への参加を促していく。</p> <p>○ 女性学級や高齢者大学等の学習機会を活用し、人権教育や啓発活動に努める。</p>					

主要施策 ②生涯学習環境の整備

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
生涯学習情報提供の充実		<p>○ 町広報・防災行政無線・ホームページ等を活用し、高齢者大学、女性学級、文化健康講座等の情報提供を行っている。また、子ども体験教室では、直接、学校へチラシ等の配布を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 多くの方に参加していただけるよう、広報誌やホームページ・チラシの配布方法等の工夫に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	多様な手段の活用による情報提供の継続的な活動を評価したい。
社会教育団体等への支援と活動の活性化		<p>○ 町子ども会育成連合会・青少年育成町民会議では事務局として参画するとともに、活動助成金等の支援を行っている。</p> <p>(主な子ども会事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジャタ大会 参加者 142名</li> <li>・ソフトバレー大会 参加者 80名</li> <li>・カルタ大会 参加者 92名</li> <li>・サンビレッジ苗での野外活動研修 参加者 17名</li> <li>・会津若松市子ども会交流会 参加者 47名</li> </ul> <p>(青少年育成町民会議事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間巡回 3地区×月1回×11カ月</li> </ul>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 町婦人会・諫山校区アンビシャス広場等社会教育団体に活動助成金等の支援を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 近年、少子化等の影響により、子ども会の加入者及び子ども会事業の参加者が減少している中、より魅力ある子ども会活動の実現に向け、子ども会役員と連携し、事業内容等の見直しを検討していく。</p> <p>○ 地域の活性化等につながる社会教育団体の活動については、引き続き支援していくが、今後の団体の在り方や町の支援等については、団体役員等と協議していく。</p>					
地域人材を活かした学習内容の充実	アンビシャス広場の推進	<p>○ 諫山校区アンビシャス広場では、地域の中で異学年の友達との様々な体験活動により、子ども達に他人を思いやる心や地域を愛する心が育まれている。また、地域ボランティアやPTA組織、学校などと一体となった取組みであるため、地域住民の連帯意識が育まれている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 地域ボランティア等指導者不足が見受けられるため、事業の必要性を理解する人材の育成が必要である。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	通学合宿事業の推進	<p>○ 児童の規則正しい生活習慣や自主性・協調性を高めるため、町内2カ所で通学合宿を実施した。子ども達の自主性や協調性等が育まれている。</p> <p>・ 黒田小学校6年生27名（2泊3日） ・ 諫山校区アンビシャス広場 4年生～6年生の希望者15名（6泊7日）</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 学校実施分については、町職員もスタッフとして参加しており、スタッフが不足している状況である。そのため、今年度は2泊3日の実施となった。今後は事業の必要性を理解する地域ボランティア等の育成が必要である。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	<p>子どもの生活習慣、自主性、協調性を高めるためにも、継続を期待する。</p> <p>スタッフの確保が大変と思うが、他の学校の実施を計画的にできないか。</p> <p>小学生と中学生との交流も考えられないか。</p> <p>企画運営のところから子ども達に任せて参加させていくと、大変さやよさが感得できるのではないか。</p> <p>通学合宿を経験した中学生や高校生をスタッフとして参加させて指導者として育成していくと、人材の育成やスタッフの不足が解消できるのではないか。</p>
図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進		<p>○ 高齢者大学・女性学級の合同開講式、通学合宿、文化健康講座、子ども体験教室等の会場として文化施設「サン・グレートみやこ」を利用している。</p> <p>○ 親子のふれあいを目的としての凧づくり体験教室の会場として、豊前国府跡公園を利用している。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <p>図書館・博物館や社会教育団体等と連携を図り、文化施設の有効活用に努める。</p>					
社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し		<p>○ 町が作成した公共施設再配置計画に基づき、関係各課で協議を行い、町の方針について関係団体や利用者に説明を行った。</p> <p>(令和元年度末廃止施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柳瀬地区学習等供用施設</li> <li>・犀川B&amp;G体育館</li> <li>・勝山運動公園</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 町の方針に沿って、廃止するに施設については、引き続き、関係機関と十分に協議し、利用者等へ説明及び周知徹底に努める。また、施設廃止後の跡地利用についても、効果的な利用を図るため、関係地域・関係団体・関係各課等と協議していく。</p>	A (A)	B (B)	A (B)	A (B)	改修や再建築は難しいので、学校施設をどう活用していくのかといった、学校教育だけでなく、社会教育までを含めたうえでの学校施設・校舎配置を考慮することが、今後の計画に必要となっていくのではないかと。

### 3 図書館の整備・充実

#### ○施策の方針

町民に広く親しまれ、利用されるため、地域の実状に即した資料の充実と子どもから大人までの利用機会の充実を図ります。  
 また、学校図書館をはじめとする関係機関やボランティアと連携しながら、読書活動の推進、図書館利用の促進に努めます。  
 なお、図書館の再配置計画に基づく統廃合後の図書館運営を見据えて、蔵書構成や各種行事等のサービス計画の見直しを検討します。

#### 主要施策 ①図書館の利用促進

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
中央図書館、分館、移動図書館の連携強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊津中央館の休館日を火曜日、犀川・勝山分館の休館日を月曜日とし、いずれかの図書館が常に開館している状況を維持している。</li> <li>○ 図書館の再配置計画に基づく統廃合後の図書館運営を見据え、蔵書の再構成や巡回図書館の見直しを行っている。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》                      図書館の再配置計画に基づく統廃合後の図書館の在り方について、図書館再編整備検討委員会において協議し、ロードマップを作成する。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	豊かな心を育てる図書館の役割は大きい。近くに図書館があることが大事だと思う。図書館の再配置を再考できないか。 財政的な統廃合ではなく、町民の読書活動の向上の面から、できれば3館の継続を検討していただきたい。それに合わせてロードマップを整備し、早急な作成を検討していただきたい。
インターネットなどを活用した広報活動の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームページやフェイスブックを活用し、図書館の事業を多くの方に周知できるように努めている。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》                      ○ 引き続きホームページやフェイスブック等を活用し、図書館事業の周知に努める。</p>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
子ども読書活動の推進		<p>○ 全館において、対象年齢別のお話し会を定期的に開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 731名 対前年度45名減</li> </ul> <p>○ 子ども読書まつりを全館で開催し、保育園児を招待したお話し会・図書館見学会（4団体参加）、子どもの本を活用したビンゴゲーム等を実施した。</p> <p>○ 移動図書館車「にこにこ号」で小学校・保育所・幼稚園を定期的に巡回し、子どもたちの身近に本を届けている。</p> <p>○ 児童を対象にものづくりを体験させる夏休みチャレンジ教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央館 参加者 40名(前年度28名)</li> <li>・犀川館 参加者 29名(前年度21名)</li> <li>・勝山館 参加者 39名(前年度44名)</li> </ul> <p style="text-align: center;">計108名(前年度93名) 対前年度15名増</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 図書館の統廃合を見据え、すべての子どもに本との出会いの場を保障するための方策を検討する。</p>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	図書館の子ども読書活動推進における役割は大きい。いつでも・どこでも・だれでも・なんでも利用できる図書館としての役割から、統廃合を再考できないか。3館の存続を検討してもらいたい。

主要施策 ②図書館を活用した地域文化活動の促進

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
読書ボランティア等の人材の育成・確保		<p>○ 読書ボランティア養成講座を開催した。 ・参加者27名</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き読書ボランティアの活動を支援するとともに、新たな人材の育成と活動の場の開拓に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	人材確保のため、PTAの中で募集したり、PTA活動と連携したりして読書ボランティアの組織づくりを行うことを期待したい。またこのことは、地域文化活動の充実にもつながっていくことが期待できる。
ブックスタート事業の推進		<p>○ 乳幼児健診（4カ月児、1歳児）で2冊の絵本を配付している。</p> <p>○ 10名のブックスタート支援員と一緒に絵本の読み聞かせをして丁寧に手渡した。 ・ブックスタートパック提供数 87名（89名中） ・ステップワンボックス提供数 89名（95名中）</p> <p>○ ブックスタートのフォローアップ事業として「親子で楽しむおはなし会講座」「ベビーマラカスを作ろう講座」を開催した。 ・参加者37名</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ ブックスタートから図書館利用へ繋がるように環境整備と育児関連書や乳幼児向け絵本等の資料の充実に努める。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	年々内容が充実しており、幼少期の感受性を豊かにすることにつながるので継続を望む。
	<p>※ブックスタート事業…自治体が行う0歳児健診等で、絵本を開く楽しい体験とともに、赤ちゃんに絵本を手渡す活動。</p> <p>※ステップワンボックス事業…ブックスタート事業のフォローアップで12ヶ月授乳幼児を対象とした活動。</p>						

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
図書館を活用した各種行事		<p>○ 暮らしの身近なものをテーマとした講座・講演会を各館で行い、内容に沿った資料を展示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央館 講座「冬の寄せ植え講座」 参加者18名</li> <li>・犀川館 講座「へたでいい へたがいい 誰にでもすぐ描ける絵手紙」 参加者20名</li> <li>・勝山館 講座「北欧のおしゃれモバイル ヒンメリを作ろう」 参加者19名</li> </ul> <p>○ 認知症の方やその家族・地域の方などが自由に参加できる集いの場「オレンジカフェ」の開催場所として中央館を提供した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、暮らしの身近なものをテーマとした講座・講演会等の開催することにより、日頃、図書館を利用しない方たちへ図書館へ来場する機会を提供する。</p>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	継続と充実を期待したい。
博物館と連携した文化活動（ギャラリー利用）の推進		<p>博物館の文化歴史講座を職員研修の中で行った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>博物館と情報交換を行い、博物館と連携した文化活動の実施に向けて検討していく。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	今後は、町の全職員を対象に計画的に研修を行っていくことを期待したい。

#### 4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用

##### ○施策の方針

文化財を町の重要な資源として保存・継承するために、必要な整備や文化財保護・継承団体への支援を行うとともに、老朽化した施設・設備の再整備を図ります。また、郷土の歴史を活かした教育や地域振興を目指し、歴史文化遺産を前面に出した展示を行います。さらに、博物館が歴史文化遺産を活用した交流拠点となるために、積極的に県内外他市町村との交流・連携を進めます。

##### 主要施策 ①町内の文化財の有効活用

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
国府跡公園・国分寺跡公園等の有効活用		<p>○ 町の代表的文化財を活用したイベントとして、以下催事を開催した。いずれも多くの参加者を得て、歴史遺産豊かな本町ならではの地域の賑わいづくりに貢献できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国府まつり（豊前国府跡公園） 開催日：R 1. 1 1. 3 内容：モノづくり体験、野外芸能等 参加者：約500名（前年同）</li> <li>・三重塔まつり（豊前国分寺跡公園） 開催日：R 2. 2. 2 3 内容：俳句表彰、野点、護摩焚等 参加者：約450名（前年約500名）</li> </ul> <p>○ 国府跡・国分寺跡の両歴史公園は、清掃や軽微な日常管理について地元区へ委託しており、地域住民と協働して管理・愛護する体制を継続できている。 元年度中における園内での管理に係る問題のある異常や事故は発生していない。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	<p>今後は、事業を開催した後、広報活動の一つとして、事業の報告の情報発信が重要である。そのためには、専門の方の配置を早急に、確実に行っていくことを期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ その他の文化財についても、地元等との協働管理と有効活用（公開・顕彰等）を心掛け、歴史・文化遺産豊かな本町の特質のアピールに努めた。主な協働管理が行われる文化財は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永沼家住宅</li> <li>・勝山地区古墳群（綾塚古墳ほか3件）</li> <li>・小笠原文庫</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 活用策の一つとなるまつりは、事務局を担う行政に業務が集中する傾向がみられることから町の政策課題として再検討を行い、開催の是非を含めた内容や形態の見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国府まつり（現行の開催は見合せ）</li> <li>・三重塔まつり（現状維持・工夫）</li> </ul> <p>○ 活用環境維持の為、経年劣化等がみられる文化財のうち代表的なものについては、所有者等とも連携・協議のうえ、有効な補助メニューの活用や長期展望を踏まえた維持管理に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊前国分寺跡（排水環境整備）</li> <li>・永沼家住宅（屋根部経年劣化）</li> </ul> <p>○ 手軽な公開・活用が困難な文化財については、対象物件のデジタル資料化等により、インターネット上での公開が可能となる環境整備や事業化を目指す。</p>					

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化財解説・案内板等の設置		<p>○ 既存の解説板・案内板の保守・管理拡充のための情報整理を行うとともに、設置に当たっての目安となる指針を、文化財保護委員会とともに作成した。</p> <p>○ 主として現地への誘導を図る案内板は、観光まちづくり課と連携し、同課のサイン事業計画の指針と調整しつつ、協働・支援の形で実施した（主として豊津地区）。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 案内板については、引き続き観光まちづくり課と連携し適宜新設や更新・再整備を行う。</p> <p>○ 解説板は指定文化財を中心に、それ以外でも公開環境が整うものについては今後、計画的かつ継続的に解説板の設置を進めるとともに、必要に応じて再整備や更新を進める。 また、設置については対象文化財の公益性や実情に配慮し、文化財保護委員会と作成した指針を目安に整備を進める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	計画的に、継続的に整備活用を行っていることを評価したい。

主要施策 ②歴史民俗博物館の事業振興と機能強化

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
博物館友の会の運営と事業展開		<p>○ 博物館友の会は博物館と協同して下記の文化・学習事業を展開した。元年度における会員数は140名となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流事業（バスハイク等） 参加者 130名</li> <li>・文化事業（作文コンクール） 参加者 47名</li> <li>・まつり、催事（塔まつり他）支援：3事業</li> <li>・愛護活動（三重塔すす払い） 参加者 38名</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 活動や事業の広報・刷新等を進め、新規会員、特に若年層の会員確保を促進していく。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	
博物館ホームページを通じたの情報発信		<p>○ 基幹ページの運営・管理とともにサイドメニュー「みやこ町文化遺産」を拡充し、町内や博物館の文化遺産・関連催事の情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加遺産数4件（当麻曼荼羅図ほか）</li> <li>・PV数163,831（前年比107%）</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 機能性の高いページへの改装と、専従人員の増援等で、HPの閲覧や利用の増進を図る。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	専従の専門員の配置を早急にお願いしたい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
全国に誇る歴史文化遺産の保存と活用		<p>○ 対外知名度の高い資料（「小笠原文庫」・「小宮豊隆資料」など）の貸出を含む特別利用に対応するとともに、同資料中の経年劣化が進む資料（朝鮮通信使資料〔世界の記憶資料〕）は補修（高規格修理）や保全対策（複製制作や高精細記録化等）を行った。</p> <p>○ 他の資料についても貸出を含む各層の特別利用に対応し、資料の利活用促進に努めた。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 資料の利活用促進のための閲覧や情報・所在等検索システムの制作・整備や、それに対応できる整理作業や高機能収納設備・専従員配置などのハードを含めた環境整備を目指す。</p> <p>○ 資料の恒久的保存のための計画を作成し、継続的に資料管理を行う。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	
他の博物館等との連携・交流		<p>○ さまざまな縁のある博物館や施設・機関・地域と、資料や情報・人的資源等の交流・連携を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漱石山房記念館（東京都/貸出） 企画展「そうせきさんてどんなかお？」</li> <li>・ 明石市文化博物館（兵庫県/貸出） 特別展「明石築城400年」</li> <li>・ 吉野ヶ里歴史公園（佐賀県/貸出） 特別展「倭人伝のクニを探る-豊-」 ほか</li> </ul> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 引き続き交流の増進に努め、機運醸成の際には記念事業の実施等を目指す。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ 自館からもゆかりの館へ連携・調整を働きかけるなどして、交流事業（企画展・講演、シンポジウム事業等）の展開を目指す。					

主要施策 ③遺跡・文化財の整備推進

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
遺跡を保護するための各種調査、記録保存		<p>○ 各種開発事業に対応した保存対応の調査や立会・調整作業等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試掘・確認調査 1 件（前年度 2 件）</li> <li>・ 工事立会 5 件（前年度 7 件）</li> <li>・ 本発掘調査 0 件（前年度 0 件）</li> <li>・ 照会件数 1 0 4 件（前年度 1 2 6 件）</li> </ul> <p>○ 旧町で実施した国庫補助事業に係る発掘調査（圃場整備関連）成果報告書作成のための整理・刊行事業〔第1次：H18～R1〕を継続実施し、令和元年度（黒田エノヲ遺跡〔遺物編〕）を以て終了した。</p> <p>○ みやこ町発足後に実施された国庫補助事業に係る発掘調査（零細事業者支援）を主体とした調査成果報告書作成のための整理・刊行事業計画〔第2次：R2～R7〕を作成した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遺跡や開発への影響を最小限にとどめる対応・調整を引き続き進めていくとともに、分布地図に代表される埋蔵文化財の所在情報の把握や更新に努める。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	確実に、着実に、調査・保存・認定が実施できていることを評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作成した報告書整理刊行計画〔第2次〕に基づき、引き続き調査成果報告書の刊行に努める。</li> <li>○ 調査成果の公開・活用に向けた取り組み（企画展や各種の学習支援・広報活動）を行う。</li> </ul>					
遺跡・文化財の適切な整備・活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遺跡・文化財のうち、経年劣化や周辺を含めた環境改善等必要なものについて、補修や環境改善事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡等〈不動産系文化財〉 永沼家住宅（防災設備補修） 豊前国分寺跡公園（トイレ改修等） 三重塔（全面クリーニング） 甲塚方墳（安全柵設置）</li> <li>・美術・工芸・典籍等〈動産系文化財〉 小笠原文庫（虫損・劣化回復処理）</li> </ul> </li> <li>○ 福岡県との共同申請を進めてきた皆見大塚古墳の福岡県文化財（史跡）が確定し、町内における指定・登録文化財（「みやこ町遺産」と総称）件数が1増加した。（全54件）</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や所有者等の協力の下、ひきつづき有効かつ効率的な対象物件の恒久的保存に必要な施策や管理・環境整備を進める。</li> <li>○ みやこ町遺産の具体的総合行政計画と位置付けられる「文化財保存活用地域計画」の策定に向けて協議を進めていく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	今後も計画的に、継続的に遺跡文化財の整備活用を実施していただきたい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
伝統文化・遺産の保存、継承に向けた活動及び関係団体・機関等の支援		<p>○ 指定文化財保存団体や地域史研究団体等の文化財愛護団体に対し、各種補助・支援・協力等を行い、文化財の保存・継承、顕彰愛護活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存団体 福岡県豊前神楽保存連合会 生立八幡宮山笠保存会 千女房桜を守る会 黒田楽保存会</li> <li>・文化財愛護団体 みやこ町郷土史研究会</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 指定文化財保存団体や地域史研究団体等の文化財愛護団体に対し、引続き支援を行う。また、支援については、補助金に限らず、関係者ニーズや公益性・有効性のあるものについて内容や方法を検討しながら進めていく。</p> <p>○ 民俗文化財については、急速な社会情勢の変化に鑑み、その保存・継承に向け学識者を交えた学術調査とともに映像・音声等も活用した記録保存事業の実施が望まれる。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	今後も文化財の保存・継承等、関係団体との連携を強化しながら進めていただきたい。

5 文化芸術振興活動の推進

○施策の方針

文化協会を中核とした文化的活動への支援・共同体制の強化を図るとともに、各文化団体の自主性・独立性を推進するための必要な措置・支援を行います。

主要施策 ①地域文化を活かした文化振興事業の推進

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化協会等による文化・芸術活動の支援		<p>○ 文化協会が主催する事業や活動に対し補助金交付による活動支援を行うとともに、公開事業や町との協働事業には人的・物的な支援を行い、同会を介した町民向け文化・芸術活動の振興に努めている。</p> <p>主な協働事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花しょうぶまつり記念発表会（6月）</li> <li>・文化月間記念発表会（10月）</li> <li>・県民文化祭2019総合開会式等（10月）</li> <li>・産業祭記念発表会（11月）</li> <li>・文化芸能フェア（3月）</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 文化協会が行う町民等一般への公開・還元を目的とする公益性の高い事業については引き続き支援・協力を進めていく。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	助成金など活動支援を行っているのであれば、どれだけ効果があがったか、数値化したエビデンスが今後必要になってくるのではないかと。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会員の高齢化や人員等固定化傾向等による会員数の減少化傾向がみられることから、新規会員の加入促進に努めるとともに、会の新たな魅力発信や事業・組織改変等について、多方面から検討する。</li> </ul>					
文化団体の自主的な運営に向けた取組・活動等の支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化協会が、構成単位となる各文化団体や教室はもちろん、町内外の文化芸術団体・関係機関等とも積極的に交流や調整を担う主体として機能できるよう、組織運営を含め支援や調整を行っている。</li> <li>○ 10・11月を「文化月間」とし、期間中の文化芸術関連催事や事業の情報発信を積極的に行っている。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化協会の事務は、現在町雇用の臨時職員が行っているが、協会がより自主的な運営ができるよう、今後の支援の在り方について協会とも協議・調整を進める。</li> <li>○ 文化協会に属さない個人や団体も参加が可能な文化催事やその支援の在り方等について検討する。</li> </ul>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	
伝統文化(遺産)を活かした文化振興事業の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒向け文化振興事業に町内外から多くの協賛参加を頂いた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化のみやこ作り記念コンクール(10月)</li> <li>絵画コンクール</li> <li>1,208点(前年度1,203点)</li> </ul> </li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	俳句や作文など、小中学生だけでなく、高校生・大学生・一般というように条件を広げることにより、もっともっと関心が高まってくるのではないかと。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>作文コンクール 47点（前年度 44点）</p> <p>・塔まつり記念少年少女俳句大会（2月） 応募数：39校/10,228句 （前年度35校/9,368句） 大会特選句を「小宮豊隆賞」「三四郎賞」 「蓬里雨賞」として表彰し、みやこ町ゆかり の先人を顕彰・周知する機会とした。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後も引き続き学校への積極的な情報提供や 周知・顕彰を続け、伝統文化を活かした文化 振興事業の推進に努める。</p> <p>○ 一般・成人向けの事業等、年齢・性別等に関 わらず、参加・楽習できる伝統文化やその遺 産を活かした様々な事業の推進に努める。</p>					

## 6 スポーツ・レクリエーションの推進

### ○施策の方針

スポーツ・レクリエーション活動は、住民相互の交流を生む機会として重要です。総合型地域スポーツクラブや体育協会・スポーツ推進委員による活動を通じて、誰でも、いつでも気軽に参加することができるスポーツ・レクリエーション活動を推進するとともに、競技スポーツの強化、オリンピック選手等トップアスリートの招へいを行うなど競技力の向上に努めます。また、スポーツ・レクリエーション活動の活性化に向けて、レクリエーション指導者や競技スポーツ指導者の資質向上に向けた研修会などに取り組みます。さらに既存のスポーツ施設の中には老朽化が進んでいるものもあり、施設の適正な維持管理に努めるとともに、住民の様々なニーズに応じたスポーツ活動が行える環境を作ることで、生涯を通じたスポーツへの参加ができる仕組みづくりに取り組みます。

### 主要施策 ①住民主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ推進計画の策定		<p>○平成28年度に作成した第2次みやこ町総合計画をスポーツ振興計画と位置づけ、誰でも、いつでも気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進していく。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○今後とも、みやこ町総合計画に基づき、スポーツ推進審議会において、スポーツの推進について意見交換を行い、スポーツの振興を図る。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	継続と充実を期待する。計画的に、明確に行われていますので、今後も継続していただきたい。
子どもと高齢者の体力づくりの推進		<p>○幅広くスポーツに親しめるように体育協会、スポーツ推進委員、スポネットTOYOTSU（総合型地域スポーツクラブ）と連携し、スポーツフェスタ・マラソン大会などを実施した。</p> <p>○町立保育所年長・年中を対象にリズム体操・水泳教室を年間24回実施した。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	大人と子どもが一同に楽しめる機会であり、いろいろな形で継続していただきたい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ ソフトバレーボール大会や剣道大会などB&amp;G会長賞として幅広い年齢層の大会として実施した。</p> <p>○ スポネットTOYOTSUでは、ジュニアプログラムにより年間32回程度各種スポーツ活動の実践を行っている。また、一般・シニアの体力アップ運動教室を、年間48回、水中運動教室を年間15回実施している。更に、小学校より指導者派遣依頼を受け、クラブ活動指導者の派遣を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後もスポネットTOYOTSUや体育協会・スポーツ推進委員等関係機関と連携し、より多くの町民が参加できるよう多種多様なスポーツ・レクリエーション機会を提供していく。</p>					
誰でも、いつでも気軽に参加することができるスポーツ・レクリエーション活動の推進	海洋性スポーツの普及	○ 7月に開催した海洋性スポーツ体験教室では、各学校・子ども育成会等の6団体他、延べ164名が犀川本庄池でカヌー・ヨット教室に参加した。海のない町で、海洋性スポーツ・レクリエーションを体験することは、子ども達にとって貴重な経験になっているものと考えている。	A (A)	A (B)	A (A)	A (A)	全体的に、生涯学習課単独での事業開催、運営が難しくなっているため、他課と連携しながら町をあげて行うような趣旨で企画していく必要があるのではないか。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>また、運営体制においては、今までの役場他課職員数十名の協力による体制を見直し、海洋性スポーツの指導者を有する業者に一部委託を行い、生涯学習課の職員と連携して教室を開催した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一部委託により指導者等の人数が減少したことにより、安全面を考え教室1回あたりの参加人数を縮小せざるを得なかったが、経験豊富な業者に一部委託をしたことにより、指導力の向上が図られた。今後も同様な体制で継続していきたい。</li> </ul>					
	競技スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競技スポーツは、主に体育協会加盟クラブが競技大会や審判講習会等を開催している。</li> <li>○ さわやかマラソン大会兼京都郡ロードレース大会は791人の申し込みがあり、738人の参加があった。</li> <li>○ 福岡県民体育大会は、令和元年度は筑豊地区で開催された。</li> <li>○ 体育協会などが主体となり豊津陸上競技場を利用し陸上競技大会「白川力杯」を開催し、町内外から約400名の参加があった。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競技スポーツの振興を図る体育協会の組織体制の強化及び活性化を図るとともに、支援体制について協議していく。</li> </ul>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ推進委員等によるニューススポーツの普及・推進		<p>○ スポーツ推進委員による「みんなで楽しく遊ぼうデー」を犀川体育館、「ふれあいスポーツ教室」を勝山体育館でそれぞれ、毎月1回実施し、ニューススポーツの普及・推進を図っている。</p> <p>○ スポネットTOYOTSUとの連携によりジュニアプログラムやシニア体力アップ事業などに参画するとともに社会教育事業である子ども体験教室では指導者として協力した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係各課・機関等と連携し、引き続き、誰もが参加できるニューススポーツの普及・推進に努める。</p> <p>○ スポーツ推進委員も高齢化傾向にあるため、若手の推進委員の加入促進を図る必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>町民が自由に気軽に参加でき、健康増進を目指したスポーツ事業を期待する。</p> <p>若い人を発掘するのに中高生のボランティアや部活動関係から要請してもらうなど、学校と連携しながら、若い人材・人を誘い込み、育成していく必要があるのではないかな。</p>
ホームページの管理・運営事業		<p>○ 施設管理状況の変更内容等の更新やイベント等の案内・結果等の情報提供を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>今後とも迅速かつ的確な情報提供に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	
スポーツフェスタの充実		<p>○ 「スポーツフェスタINみやこ2019」としてアジャタ・ソフトバレー・卓球・軟式野球・バレーボール・グラウンドゴルフ・登山教室・バスケット等を実施し、幅広い年齢層から、延べ1,603人の参加があった。</p>	A (A)	A (B)	A (A)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツフェスタとして根付きつつあるので、当面は継続していく。</li> </ul>					
	<p>アダプテッド・スポーツの取組</p> <p>※アダプテッド・スポーツ (adapted sports)…障がい者や高齢者、子どもあるいは女性等が参加できるように修正された、あるいは新たに作られた運動やスポーツ・レクリエーション全般のこと。</p>	<p>○ みやこ町身体障がい者福祉会、子育て・健康支援課、生涯学習課のとの共催によりフライングディスク大会を実施した。障がいのある方を対象としたスポーツの取組として一歩を踏み出すことができた。</p> <p>○ スポーツ推進委員を中心に障がい者や高齢者のスポーツの指導者講習会等に参加し指導者の養成に取り組んだ。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者向けのスポーツメニューへの対応力を強化し、機会を逃さずに障がい者スポーツの普及振興を図る体制の構築に努める。</li> <li>○ スポーツ推進委員やスポネットTOYOTSUと連携して、障がいある方を対象とするスポーツ教室の開催について検討する。</li> </ul>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	

主要施策 ②競技スポーツの振興

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
体育協会によるチャンピオンスポーツの実施支援		<p>○ 体育協会が主催により、陸上、卓球、バレーボール、軟式野球、ソフトボール、水泳、ソフトバレーボール、サッカー、空手、剣道、バドミントン等のチャンピオンスポーツ活動を支援（大会助成、施設使用料の減免等）している。</p> <p>○ 京都郡大会や県民体育大会などに町代表選手の派遣を行っている。</p> <p>○ 体育協会の規定により、全国大会出場助成金を、2団体（ソフトボール、ソフトバレー）と7名（野球3名、空手2名、バドミントン1名、バレーボール1名）に交付した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、体育協会の組織体制強化及び活性化を図るとともに、チャンピオンスポーツへの支援体制について体育協会と協議していく。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
オリンピック選手などトップアスリートの招へい		<p>○ 柳川市・みやま市・みやこ町・築上町と福岡県、日本オリンピック委員会、オセアニアオリンピック委員会と締結した2020年東京オリンピック事前キャンプ実施に係る基本合意書にに基づき、昨年度に引き続き、8月27日から10月25日の期間において、豊津陸上競技場を主として、4名の陸上選手（グアム3名、バヌアツ1名）の事前キャンプの受け入れを行うとともに、町民との文化交流も行った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ オーストラリア・ニュージーランドを除くオセアニア地域の各国よりオリンピック出場を目指す陸上選手を招き、豊津陸上競技場等を練習施設として提供し、地域住民とも文化交流等を行う。</p> <p>○ 事前キャンプ地としての練習環境の整備に努める。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	オリンピックが終われば事業が終わるのではなく、できれば、オセアニアとのつながりが継続的に持てるような取り組みや仕組みを町として整備する必要がある。

主要施策 ③既存の体育施設の有効活用と利用促進

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
複合的な活用を考えたスポーツ施設の活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊津運動公園内には第4種陸上競技場、体育館、プール、トレーニングセンターなどがあり、さわやかマラソン大会や隣接の菖蒲園などのまつりにも利用されている。昨年度に続いて豊津運動公園の樹木伐採により、見通しを良くしウォーキングなど公園利用者の利便性を図った。</li> <li>○ 犀川体育館・中央公民館・周辺駐車場を利用し、産業祭を行った。</li> <li>○ 犀川運動公園内に、野球場・多目的グラウンドがあり、毎年少年サッカー大会やソフトボール大会など京築や近郊大会の主会場となっている。</li> <li>○ 勝山体育館を京築ふるさと文化祭・県民文化祭の会場として利用した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係各課・機関と協議検討を行い、複合的な施設の有効活用に努める。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	
海洋性スポーツ・レクリエーション施設（B&G財団）の利用促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 7月に犀川艇庫（本庄池）でカヌー・ヨット教室を実施した。</li> <li>○ 豊津B&amp;Gプール（利用者4,451名：対前年度59名減）にて水泳教室を実施した。また、小中学校・保育所の授業での利用（無料）や夏休みの無料利用券（1人6枚：プールの無い小中学校）を発行した。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 豊津・犀川B&amp;G体育館（利用者36,702名：対前年度8,583名減）においては、学校行事・部活動などの利用（無料）、各種団体（体育協会、子ども会、老人会など）への使用料減免措置を行っている。</p> <p>○ 公共施設再配置計画に基づき、犀川B&amp;G体育館を令和元年度末で廃止した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 豊津B&amp;G体育館は利用者が多いが、老朽化が進んでいるため、バリアフリー等を含め大規模改修に取り組み、誰もが利用しやすい環境を整備していく。</p>					

主要施策 ④指導者の育成・発掘

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ・レクリエーション指導者の育成		<p>○ 生涯学習課職員1名をB&amp;G財団主催の指導者研修会へ参加させ、センターインストラクターとして育成した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 海洋性スポーツ・レクリエーションの指導者づくりが課題である。今後計画的にB&amp;G財団主催の指導者養成研修への参加を図りたい。</p>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	
スポーツリーダーバンクの構築と活用		<p>○ スポーツ推進委員やスポネットTOYOTSUを中心に指導者講習会等に参加し、指導者の養成に取り組み、各種団体からの依頼に対応している。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ スポーツリーダーになるべく人材育成及び組織構築が課題である。当面は、指導者の育成強化を図るため、現指導者に対して指導者講習会等への参加を促していく。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	

主要施策 ⑤運動をすることでの健康づくりへの取組

※令和元年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
実践しやすい運動について情報提供		<p>○ スポーツ推進委員やスポネットTOYOTSUが実施している「みんなで楽しく遊ぼうデー」や「体力アップ運動教室」などの情報提供を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後とも、町民が気軽に参加できるような魅力のある教室を開催し、防災行政無線・広報等での情報提供に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	
関係団体との連携		<p>○ スポーツ推進員やスポネットTOYOTSU等と連携を図りながら、町民の健康づくりに繋がる卓球バレーなどニュースポーツの推進を図った。</p> <p>○ みやこ町身体障がい者福祉会や子育て・健康支援課と連携し、フライングディスク大会を実施した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 日頃、運動しない人をいかにして運動に興味を持たせるようにするかが課題であるため、今後とも、関係機関等と連携を強化し、誰もが気軽に取り組めるスポーツ機会の提供に努める。</p> <p>○ 超高齢化社会を迎えているみやこ町における介護予防のニーズが高まっていることに鑑み、介護福祉課や関係機関と連携した事業について検討していく。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

## 令和2年度 みやこ町教育委員会自己点検・評価（令和元年度対象）に対する外部評価委員会の所見

外部評価委員長 芋生 修一（福岡教育大学 教職大学院特任教授）  
委員 中村 政弘（みやこ町教育行政経験者）  
委員 大川 照（教職員経験者 小学校長経験者）

みやこ町教育委員会が令和元年度に取り組んだ活動について自己点検・評価をおこなったが、その点検・評価に対して外部評価委員会は3回に亙る委員会において慎重に審議した結果、以下の所見を述べる。

### 1. 外部評価の意義、並びにみやこ町教育委員会点検・評価の方法

『地方教育行政の組織および運営に関する法律』の一部改正（平成20年4月施行）により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、情報公開の一環として広く市町村住民に公開することにより、住民に対して説明責任（アカウントビリティ）を果たすことが求められることとなった。

みやこ町における自己点検・評価及び外部評価は今年で9年目を迎えた。今年度の点検・評価及び外部評価は、基本的には前年度までの内容及び方法をほぼ踏襲して、令和元年度の教育委員会活動を、Ⅰ. 教育委員会の活動、Ⅱ. 教育委員会が管理・執行する事務、Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の3つに区分し、それぞれについて教育委員会の活動の進捗・達成状況等を点検・評価している。その中で、「Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に係る主要施策・主要事業、並びに各活動については、「みやこ町第2次総合計画(平成28年度～令和2年度)の基本計画に示された主要事業及び教育委員会で策定した「平成29年度みやこ町教育施策リーフレット」の主要事業に対応し、「1 学校教育における学習環境の充実」、「2 生涯学習のための環境整備」、「3 図書館の整備・充実」、「4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用」、「5 文化芸術振興活動の推進」、「6 スポーツ・レクリエーションの推進」の6つの施策から構成され、各々に主要施策並びに主要事業が設定されている。

以上の各施策並びに事業の達成に向けて実施された活動（取組）に対して点検・評価を実施している。

各評価項目（取組）に対する点検・評価並びに外部評価にあたっては、「Ⅰ 教育委員会の活動」及び「Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務」については、各取組の実施状況に対して、評価基準を「A.達成できた」「B.おおむね達成できた」「C.達成できなかった」の3段階評価として教育委員会が自己点検・評価したものを項目ごとに外部評価委員がその内容を確認し、別紙評価シートに評価を記載するとともに、以下の所見で総合的評価を記載する形を採っている。また、「Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、「有効性」「効率性」「達成度」の観点及びそれら3つの「総合」という4つの観点が設定されている。そして、「有効性」の観点から「A.有効である」「B.おおむね有効である」「C.あまり有効でない」、また「効率性」の観点から「A.実施できている」「B.おおむね実施できている」「C.実施できていない」、「達成度」の観点から「A.期待を上回る」「B.おおむね期待どおり」「C.期待を下回る」、最後に「総合評価」として「A.B.C.」のそれぞれ評価判断基準を設けた。この評価方法による各項目の点検・評価の結果について、外部評価委員会は、2回に亘る聞き取りにおいて各担当部署に具体的な説明を求め、別紙評価シートにできる限り簡潔にその評価を記載するとともに、以下の所見において詳細に述べている。

## 2. 「教育委員会の活動」及び「教育委員会が管理・執行する事務」に対する外部評価

ここでは、上記「Ⅰ. 教育委員会の活動」及び「Ⅱ. 教育委員会が管理・執行する事務」に係る取組について所見を述べる。

### [1] 教育委員会の活動

#### (1) みやこ町教育委員会会議の運営、公開等

##### ①教育委員会会議の運営改善について

会議は定例会11回、臨時会4回が開催され、適切な運営がなされていると判断する。

##### ②教育委員会会議の公開等に関すること

これまでの外部評価において、教育委員会会議をはじめ、自己点検・評価や外部評価に関する情報の公開、並びに会議の傍聴を促す取組を積極的に推進してほしい旨を指摘してきた。そうした指摘に対応して、平成25年度以降、教育委員会開催についてホームページに掲載し周知を図るなど努力が継続的に行われてきた点を評価する。ホームページによる広報は閲覧できる町民に限られているのではないかと指摘も有り、今後も移動委員会の開催や町広報誌等の利用など、情報公開や住民の積極的関与のための工夫を期待する。

### ③教育委員の自己研鑽、並びに学校等教育施設に対する支援・条件整備に関すること

県内あるいは京築地区で実施された研修会、並びに各学校で開催された研究発表等への参加については、計画的・継続的に実施されていることが確認された。今後も、教育方法や教育内容の急激な変化に対応できるように、研修会や研究協議会への参加による知見（情報等）を確実にフィードバックし、みやこ町の教育行政や教育実践の改善・改革に結びつけるよう一層の研鑽・研修の充実を期待したい。また、必要に応じて研修内容の詳細をまとめて、町民に報告することも検討してもらいたい。

一方、積極的・定期的に学校等教育施設を訪問し、学校の状況を意欲的に把握する姿勢が評価できる。今後は、学校訪問後の指導内容や協議内容等を積極的公開し、町民へ学校状況の理解を促すことも必要となってくる。また、学校訪問の在り方を検討する時期にきていると考える。学校の主体性が問われている今日において、学校長のビジョンや経営システム、学校の組織化・チーム化、新たな学習指導要領の具体化・具現化等を問う学校訪問が必要になってくる。

## [2] 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 本年度もみやこ町教育施策について審議・策定し各学校に配付していることが確認された。今後も教育委員会の考え方及びその政策遂行について、各学校長が作成する学校経営要綱へ具体的に反映し、具現化することを期待したい。また、策定した内容に則った学校運営の効果をj確認する場として、定期的な学校訪問だけではなく、教育長との面談や各学校における外部評価の結果公表を行っていることを評価したい。今後も継続するとともに、学校運営や組織化のあり方を交流し合う場と機会を設け、よりよい学校教育のあり方を確かなものにするように期待したい。
- (2) 教育行政の運営の必要上、あるいは各学校及び地域の教育現実等への対応の必要から、適切に諸規則の改正等を行っているとは判断する。
- (3) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事項では、適任者の選定がなされていると判断する。今後も、日常的な町内の人材情報の収集を行い、経験豊富な人材を任命するよう心がけてもらいたい。

## 3. 「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に対する外部評価

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」は、6つに大別された大項目「学校教育における学習環境の充実」、「生涯学習のための環境整備」、「図書館の整備・充実」、「遺跡・文化財・博物館の整備・活用」、「文化芸術振興活動の推進」、「スポーツ・レク

リエーションの推進」であり、それぞれの大項目のもとにいくつかの主要施策、さらにその主要施策のもとに主要事業が示されている。点検評価は、主要事業の有効性、進捗状況及び成果を確認し評価したものである。以下は、教育委員会による自己点検評価に対して外部評価委員会が実施した評価の所見である。

## < 1 > 学校教育における学習環境の充実

標記の大項目のもとに、「子どもの教育環境の充実」「子どもの健康を守る取組の推進」「学校施設の整備・充実」「児童・生徒の安全確保」「家庭教育力の向上」の5つの主要施策が設けられている。

### (1) 子どもの教育環境の充実

この主要施策のもとに、「チームとしての学校づくり」、「9年間を見通した教育の充実」、「時代を担う人材育成のための教育の充実」、「多様な教育ニーズにこたえる教育の推進」、「安全、安心な給食の配食」の5つの主要事業が示されている。

「チームとしての学校づくり」については、「心理や福祉など多様な専門家の配置の促進」、「関係機関との連携強化」、「家庭・地域との連携強化」の3つの取組が、また、「9年間を見通した教育の充実」については、「小中連携教育の推進」、「基礎学力向上に向けた教育活動の充実」、並びに「心の教育や体力向上の取組の充実」の3つの取組が、さらに「時代を担う人材育成のための教育の充実」については、「国際理解教育・英語教育の推進」、「キャリア教育の推進」、「郷土を愛する心を育てる教育の充実」の3つの取組が、「多様な教育ニーズにこたえる教育の推進」については、「特別支援教育の充実」、「不登校児童・生徒への支援の充実」の2つの取組が、「安全、安心な給食の配食」については、「衛生管理の徹底と安全、安心な給食の配食」、「地場産農産物の利用促進」、「食育の推進」の3つの取組がそれぞれ実施されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下の通りである。

- ① 「心理や福祉など多様な専門家の配置の促進」については、町雇用のSSWやスクールアドバイザー、合理的配慮アドバイザー等の配置によって、効果が上がっていることは評価できる。ますます多様化する児童・生徒への対応を充実するためにも、効果の数値化とともに、今後も関係機関と連携しながら引き続き実施できるように予算の確保をお願いしたい。
- ② 「関係機関との連携強化」における連携の内容や相談等に関しては、今後ますますみやこ町教育委員会の主体性が問われてくる。学校任せではなく、本教育委員会のイニシアチブによるビジョンやシステムの確立と推進を期待したい。
- ③ 「家庭・地域との連携強化」については、生活習慣や学習習慣確立の主体が家庭・保護者・地域となるようにするためにも、みやこ町PTA連合会との連携による組織的な推進を期待したい。

- ④ 「小中連携教育の推進」については、重要な施策であり、計画的に進められていることや共通した多様な取組を実施していることは評価できる。今後は取組の特色化を図っていく視点からも、効果が上がっている取組の広報や実践的な交流会の開催等を実施し、各校区の主体的な取組を促進したい。
- ⑤ 「基礎学力向上に向けた教育活動の充実」については、確実に成果が上がっており、みやこ町学力検証委員会を中心に継続した事業の展開を期待したい。今後、町雇用教員の質の確保と専門性を高める上から、みやこ町教育委員会主催研修会の実施や福岡県教育センターで実施されている講師限定のキャリアアップ講座等への積極的・計画的な応募等を検討していただきたい。
- ⑥ 「心の教育や体力向上の取組の充実」については、確実に成果が上がっていると判断する。今後は、特別の教科「道徳」の全小中学校での実施に伴い、保護者や地域へ道徳授業の公開等を行い、道徳教育への関心と理解を高めていくことを期待したい。
- ⑦ 「国際理解教育・英語教育の推進」については、児童生徒の英語活動や会話力を高めるためにも、GTECの実施やALTの確保、積極的な派遣及びスピーチ大会などの表現する機会や場の確保は、今後も継続していきたい。併せて、県小学校外国語専科配置制度の活用や授業改善による中学校英語教員の指導力向上を期待したい。
- ⑧ 「キャリア教育の推進」については、キャリア教育やキャリア形成が職場体験だけになっている現状がある。キャリアパスポートを活用した全教育活動の中でキャリア教育やキャリア形成を具体化・具現化することを期待したい。
- ⑨ 「郷土を愛する心を育てる教育の充実」については、本教育委員会が主体となって文化遺産や郷土の偉人を教材化した資料集作成を行い、道徳教育の充実と郷土愛の向上を図っていくことを期待したい。
- ⑩ 「特別支援教育の充実」については、適切な人的配置が計画的・継続的に行われていることを評価したいし、今後も充実・継続できるようにしたい。また、指導者の専門性を確保し指導力向上の面から、特別支援免許状保有率を高める必要があるため、積極的・計画的な支援及び人材育成計画の策定を期待したい。さらには、就学前からの指導の引き継ぎを図るためにも、福祉課や子育て支援課等の他部署や幼稚園・保育所等との連携が必要であるため、その連携のシステムを強化していきたい。
- ⑪ 「不登校児童・生徒への支援の充実」については、SSWやSCの配置が計画的に実施され、その効果も上がっていることを評価したい。今後は校内適応指導教室の設置を計画的に実施するなど、小学校段階からの早期の対応を期待したい。
- ⑫ 「地場産農作物の利用の促進」については、現状把握を的確に行い、意図的・計画的な利用推進を行っていることや地場産食材を利用した給食の様子を定例化した日に配信・紹介していることを評価したい。

## (2) 「子どもの健康を守る取組の推進」

この主要施策では、「食物アレルギーをもつ児童生徒への適切な対応」が示されている。「みやこ町食物アレルギー対応マニュアル」に基づく種々の取組がなされていると判断する。今後も、適切な対応が図られるよう着実な実行を期待したい。

### (3) 「学校施設の整備・充実」

この施策では、「統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進」、「ICT 教育推進のため電子黒板等の機器の整備の推進」、「特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備」が3つの取組がなされている。

- ① 「統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進」については、常に新しい情報を提供していく中で、新小学校の整備計画や開校理念を保護者や地域に周知し、継続的に理解を図っていくことを期待したい。また、開校した小学校の様子を積極的に紹介・配信することで、統合のよさを理解する機会としたい。
- ② 「ICT 教育推進のための電子黒板等の機器の整備の促進」については、ギガスクール構想に則った実施を確実に行うと共に、コロナ禍での状況変化による ICT 活用・普及が加速されたことを踏まえ、ハード面と共にソフト面の教材教具の充実を図り、ITC 活用の情報を教員に提供することを期待したい。
- ③ 「特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備」については、巡回による通級指導に係る町雇用「合理的配慮協力員」の配置など通級指導教室の環境整備が進んでいることが確認できた。今後も教育的ニーズに応じた教育活動が実施できるように、確実な環境整備の継続を期待したい。併せて ICT を活用・利用した訪問・観察のあり方等の開発・実施も期待したい。

### (4) 「児童・生徒の安全確保」

この主要施策は、「通学路の安全確保」、「安全見守り活動の充実」、「スクールバスの適切な活用」の3つの取組がなされている。いずれも着実に実施され、安全確保に努力していることが評価できる。さらなる安全確保の視点から、スクールガードリーダーによる情報交換会や研修会等による情報の共有・促進を期待したい。なお、スクールバス利用は、優れた活用例である。生徒の安全面や教師の負担軽減に極めて有効である。今後も利活用の拡充を期待したい。

### (5) 家庭教育力の向上

この主要施策は、「親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組」、「保護者と連携した学力の向上、規範意識の向上」、「発達段階に合わせた連携・教育の推進」の3つの事業が展開されている。

「親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組」において、子ども体験教室、凧づくり体験教室、親子星空観望会など、一定の評価があったことが確認できた。更に、家庭教育支援総合事業を全町に広げ、計画的に推進していくことを期待したい。

「保護者と連携した学力の向上、規範意識の向上」では、「ノーテレビ・ノーゲーム」「ストップ・スマホ」など家庭での指導が行いやすいような取組を展開し、確実に成果が上がっていると評価する。この事業は、保護者が主体者であり、学校は支援者であるという関係をつくる上からも、みやこ町PTA 連合会や各関係機関との連携・実践を図りながら、更なる活動の充実を期待したい。

## ＜2＞生涯学習のための環境整備

この取組では、『いつでも・どこでも・だれでも・なんでも』学ぶことができる学習機会の提供」と「生涯学習環境の整備」の主要施策を推進している。前者には、「ライフステージに応じた学習機会の提供」、「自己啓発のためのバランスのとれた各種講座教室の提供」、「公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画」、「人権教育の推進」の4つの主要事業が、後者としては「生涯学習情報提供の充実」、「社会教育団体等への支援と活動の活性化」、「地域人材を活かした学習内容の充実」、「図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進」、「社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し」の5つの主要事業が掲げられている。

『いつでも・どこでも・だれでも・なんでも』学ぶことができる学習機会の提供」では、高齢者、女性及び青少年をそれぞれ対象とした学習機会を提供するための多様な講座等が前年度に引き続き展開されている。高評価の講座もあるが、高齢者大学では減少傾向がみられる。しかし、高齢者の生きがい対策の中核事業として、事業継続を強く望みたい。

「生涯学習環境の整備」では、「生涯学習情報提供の充実」については、多様な手段を活用した広報は随時適切に行われていると評価する。「社会教育団体等への支援と活動の活性化」については、子ども会育成連合会や婦人会等への助成や支援を展開しているが、企画されできあがった事業や活動を展開しがちである。企画の段階からできる限り子どもたちに参加させ、子どもたちのニーズに応じた内容と方法を工夫することを期待したい。

「地域人材を活用した学習内容の充実」の「通学合宿事業」については、児童の体験不足を補完する上で有効な事業であり、継続を期待するとともに、中学生も参加させ、将来における地域のリーダー育成に繋がることを期待したい。

「図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進」、「社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し」については、行財政改革との兼ね合いもあるが、生きがい対策の観点から身近な施設や学校施設の活用も検討していただきたい。

## ＜3＞図書館の整備・充実

図書館の整備・充実に関する施策では、「図書館の利用促進」と「図書館を活用した地域文化活動の促進」の2つの主要施策が展開されている。

「図書館の利用促進」については、「中央図書館、分館、移動図書館の連携強化」、「インターネットなどを活用した広報活動の充実」、「子ども読書活動の推進」の3つの主要事業が展開されている。各図書館の閉館日をずらすなどして、町内図書館が常に開館していることは、利用者にとっては好評であると判断する。さらに、図書館で行う事業や行事等をホームページだけでなくフェイスブックに掲載することにより、多くの方に周知できるように努めていることを評価したい。今後、財政的な面からの統廃合ではなく、町民の読書活動の向上の面を重視し、3館の存続を検討してもらいたい。

また、「図書館を活用した地域文化活動の促進」については、「読書ボランティア等の人材の育成・確保」、「ブックスタート事業の推進」、「図書館を活用した各種行事」、「博物館と連携した文化活動（ギャラリー利用）の推進」が取り組まれている。

いずれも概ね着実に実施されていると判断する。とくに各種事業は、興味のわく身近な内容の取組がなされており、館員の方々の熱心な姿勢が現れていると評価する。

#### <4>遺跡・文化財・博物館の整備・活用

「町内の文化財の有効活用」、「歴史民俗博物館の事業振興と機能強化」、「遺跡・文化財の整備推進」の3つが主要施策として示されている。いずれも概ね着実に実施されていると判断する。国や県及び関係機関との連携を図りながら、計画的な事業展開を期待する。

みやこ町は、多くの文化財を有しており、その資料収集・整理、保存、継承、活用、普及などは重要な事業となる。実際に、みやこ町が掲げている主要事業は多岐にわたる。それらの事業の成果や課題のなかから、特徴的な事項を以下に示す。

- ① 「町内の文化財の有効活用」については、町内外に広く情報発信する手段として、イベント内容や対象物件のデジタル資料化の整備が急務である。イベントに関しては事業開始前の広報と共に、事業後の情報提供も行うことで、参加等の増加を期待できる。
- ② 「歴史民俗博物館の事業振興と機能強化」については、動的な展示や体験型の展示など、内容や方法の工夫が見られ、子どもも大人も楽しめる事業になり評価できる。今後より一層、他地域の博物館と連携し、展示物を借り、魅力のある企画展の開催を期待したい。また、ホームページの充実のためにも専従員の配置を希望する。

#### <5>文化芸術振興活動の推進

ここでの取組として「地域文化を活かした文化振興事業の推進」が主要施策として示されており、「文化協会等による文化・芸術活動の

支援」、「文化団体の自主的な運営に向けた取組・活動等の支援」、「伝統文化(遺産)を活かした文化振興事業の実施」が展開されている。

いずれも概ね着実に実施されていると判断する。とりわけ、「伝統文化(遺産)を活かした文化振興事業の実施」については、俳句や絵画・作文等、伝統文化やその遺産・文化資源を活かした文化事業を行い、ジュニア俳句大会、絵画・作文コンクールで、応募人数・句数が多く、意義ある取組であると評価する。今後は対象者の拡充を図りながら、更なる取組の充実を期待したい。

#### <6> スポーツ・レクリエーションの推進

平成28年度に作成した第2次みやこ町総合計画をスポーツ振興計画と位置づけ、誰でも、いつでも気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進していくことをスポーツ推進審議会で審議し、「住民主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進」、「競技スポーツの振興」、「既存の体育施設の有効活用と利用促進」、「指導者の育成・発掘」、「運動をすることでの健康づくりへの取組」の5つの主要施策が示されている。以下、特徴的な事項を記載する。

- ① 「スポーツ推進に委員等によるニュースポーツの普及・推進」については、今後も継続して放課後クラブや老人ホーム等の団体や施設に積極的に声かけをして、参加を促す取り組みを継続していきたい。また、中高生や大学生へのボランティア活動の呼びかけ及び高等学校の関係部活と連携するなどして、後継者育成を意図的・計画的に図っていくことを期待したい。
- ② 「アダプテッド・スポーツ の取組」については、障がい者を対象としたスポーツの機会や場を提供する上でとても大切なことであるので、今後先進地域に学びながら積極的に推進してもらいたい。
- ③ 「オリンピック選手などトップアスリート招へい」については、極めて貴重な機会なので、トップアスリートと町民、児童・生徒が気軽にふれあうような場の継続が望まれる。特に東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた多くの取組と連携しながら、アスリートと町民との交流が充実する企画を期待すると共に、一過性に終わることがないように留意したい。
- ④ 「スポーツ・レクリエーション指導者の育成」については、「する・見る・支える・知る」体育スポーツの視点からも、他団体と連携し、生涯スポーツに携わっている人を多く招聘し、共に競技ができる機会の場の提供を期待したい。

## 4. 全体所見

これまで主要事業の各取組について評価してきたが、最後に全体所見として2点記しておきたい。

(1) 「成果のある事業の充実」

本外部評価委員会では、令和元年度におけるみやこ町教育委員会の施策や事業については、いずれの項目も概ね着実に実施され、年々改善・充実が図られていると判断する。いずれの取組も計画的に行われ、検証もしっかりされている点を評価したい。

顕著に成果をあげている事業として、「子どもの教育環境の充実」での「関係機関との連携強化」における不登校生徒への対応、「国際理解教育・英語教育の推進」における GTEC の実施や ALT の小中学校派遣、「郷土を愛する心を育てる教育の充実」における地域のよさを発見する学習の実践、また、「子どもの健康を守る取組の推進」での食物アレルギーへの適切な対応、「児童・生徒の安全確保」での「安全見守り活動の充実」におけるスクールリーダー配置と連携、さらには、「生涯学習のための環境整備」での「自己啓発のためのバランスのとれた各種講座教室の提供」における各種講座の開催や「「図書館の整備・充実」での「インターネットなどを活用した広報活動の充実」におけるホームページやフェイスブック等による図書館事業の周知は有効な取組であり、今後も成果が大いに期待できる。

今後の各施策の実施のあり方として、みやこ町教育委員会としての単独事業としてのよさは残しつつも、福祉課や子育て支援課等の他部署との連携・協働事業として展開するとより効果的・効率的な事業になる施策も考えられる。積極的に他部署や幼稚園・保育所等との教育機関・施設との連携のビジョンとシステムの確立を期待したい。

## (2) 「みやこ町の強みを活かした誇りと郷土愛の育成」

みやこ町は、著名な文化人を数多く輩出し、貴重な歴史的遺産・文化財に恵まれている。29 年度にはユネスコの「世界の記憶」遺産として小笠原文庫「朝鮮通信使資料」が登録され、令和元年には福岡県との共同申請を進めてきた皆見大塚古墳が福岡県文化財（史跡）として確定し、「みやこ町遺産」が 54 件になった。これらの文化遺産を最大限に活用した学校教育や様々なイベント、事業を展開することは、みやこ町に育ったことへの誇りとみやこ町の素晴らしさを感じ郷土愛を育むこととなる。具体的には、道徳教育や総合的な学習の時間等で活用できる教材開発や資料集の作成を行い、各学校での実践を積み上げていくことである。このことは、町の活性化の重要な柱となると期待される。みやこ町の誇るべき「ひと・もの・こと」の更なる整備と積極的な広報活動や事業展開が切に望まれる。